

行動制限緩和受け

業務用が伸長

3月消費量、家庭用は微増に

米穀機構はこのほど、3月分のコメ消費動向調査の結果を発表した。消費者1658世帯の回答に基づいて1人1カ月当たり精米消費量を4508㌔と集計している。前年同月比で187㌔（4%）増加し、12カ月連続で前年同月を上回っている。

家庭内消費量は3042㌔となり、前年同月よりも49㌔（2%）増加。2カ月連続で前年同月を上回った。中食は916㌔で、前年同月を84㌔（10%）上回り増加に転じている。外食は550㌔となり、前年同月より53㌔（11%）増加。12カ月連続で前年同月を上回った。屋内外を問わず食事中のマスク着用を自己判断に委ねる行動制限緩和の影響が表れた形だ。

精米の購入・入手経路別の割合は、多い順に①スーパー49%②家族・知人から無償（いわゆる縁故米）14%③ネットショップ10%—など。米穀専門店が前年同月を0.4㌔上回る2.4%で、前月より1ランク高い8位に。スーパーは前年同月比で2㌔低く、家族・知人などから無償が2㌔ほど増えている。

購入経路ごと精米1㌔当たり平均購入価格は最高がデパートの546円、最低が生産者から直接購入の298円。上下で248円の開きがある。米穀専門店は中間値の422円を87円（21%）上回る509円となっている。

家庭内の月末コメ在庫（買い置き）は6.6㌔で、前月より100㌔（2%）増加。前年同月比では100㌔（2%）少ない。